

本授業は、以下の検証を行うものである。

他県の低い土地と高い土地の地形条件を生かしたくらしや産業の工夫について学習したことを基に、本県の特徴のある地形条件をもつ地域について、説明したり議論したりする活動を取り入れることは、獲得した中心概念を活用し、課題の解決に向けて広い視野から構想しようとする「深い学び」を実現するための手立てとして有効であったか。

1 小単元名 低い土地のくらしや高い土地のくらし (大単元 わたしたちの国土)

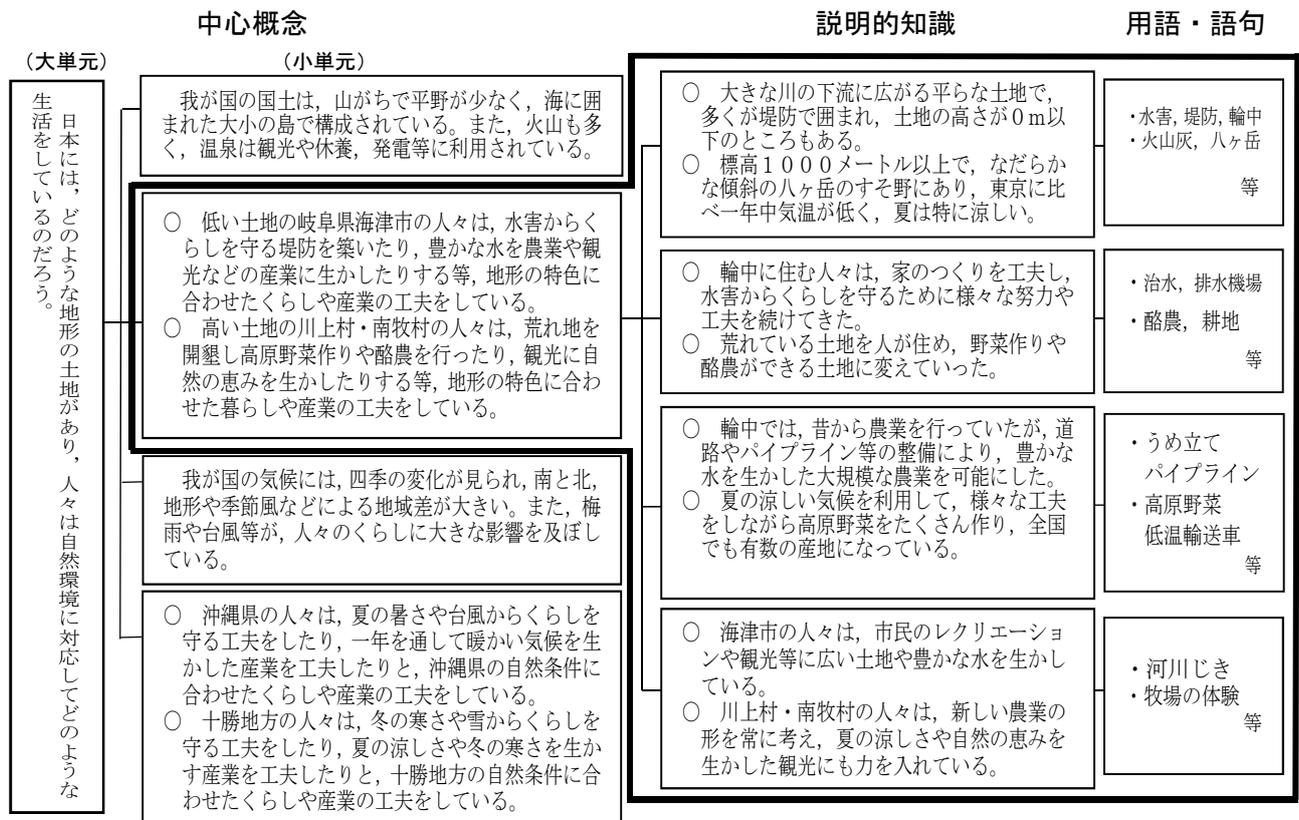
2 目標

低い土地や高い土地の人々のくらしや産業の特徴を地図や各種資料を活用して調べてまとめるとともに、地形条件と人々のくらしや産業の関わりについて思考・判断したことを適切に表現することができるようにする。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 特徴のある地形条件をもつ地域の様子と、人々のくらしや産業について、地図や各種資料を活用して調べたことを理解している。	○ 特徴のある地形条件をもつ地域の様子について、その地形条件と人々のくらしや産業を関連付けて表現している。	○ 特徴のある地形条件をもつ地域の様子と、人々のくらしや産業について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。

4 大単元における小単元の位置について (概念構想図)



5 単元について

(1) 小単元について

本小単元は、学習指導要領の第5学年の目標(2)及び(3)の一部の学習を達成することをねらいとして設定した。これまで子供たちは、「国土の地形の特色」について学習してきた。本小単元では、地形条件に特色のある地域について、歴史的な背景も含め、「土地の改良」、「農業」、「生活や観光」

という追究の柱に沿って調べることで、地形の特色に合わせた人々のくらしや産業の工夫について考えることをねらいとしている。

また、地図、土地利用図、写真等の資料を活用することで、地形の特色を実感的に捉えることができるようにする。さらに、自分の住む地域とも比較することで、地形条件とくらしや産業の工夫を関連付けたり、総合したりして中心概念を獲得することができるようにする。ここでの学習は、「米づくりのさかんな地域」の学習につながるものである。

(2) 子供について

本学級の子供は、社会科の学習への関心が高く、課題に対して意欲的に学習に取り組むことができる子供が多い。また、ペアやグループ学習等の対話活動においては、自分の考えを相手に分かりやすく伝えようとしたり、相手の考えを聞き、自分の考えに生かそうとしたりする姿も見られるようになってきた。しかし、「社会的事象の見方・考え方」を働かせて獲得した中心概念を活用し、社会に見られる課題について考えた解決策を、相手に分かりやすく伝えたり、相手の考えを聞き自分の考えに生かしたりすることが難しい子供もいる。

(3) 指導に当たって

本小単元では、子供たちが「社会的事象の見方・考え方」を自ら働かせて、獲得した中心概念を基に、自分が選択・判断したことを説明したり議論したりしながら学習に取り組むことで、社会との関わりを意識することができるようにする。

「つかむ・見通す」過程では、低い土地と高い土地と、鹿児島県の特色のある地形条件をもつ地域を提示し、同時に調べる学習活動を取り入れることで、追究意欲を高めることができるようにする。

「調べる」過程では、「位置、地形、土地利用、分布」や「工夫、努力」等の視点について、「どのような場所にあり、どのように広がっているだろうか。」や「どのような工夫や努力をしているのだろうか。」等の発問をし、「比較・分類したり総合したり、関連付けたりする」等の方法で追究することで、中心概念に迫ることができるようにする。

「まとめる・生かす」過程では、ペアやグループ等での対話活動を積極的に取り入れることで、中心概念を獲得することができるようにする。さらに、鹿児島県の特色のある地形条件をもつ地域について調べたことを発表することで、獲得した中心概念を活用し、社会との関わりをより意識することができるようにする。

6 指導計画（小単元総時数6時間）

大単元	小単元	主な学習活動	時間
	つかむ	○ 大単元の学習問題をつくり、大単元の見通しをもつ。	1
調 べ る	つかむ・見通す	1 日本や鹿児島県の特色のある地形条件をもつ地域について考え、学習問題をつくる。 特色のある地形条件をもつ地域に住む人々のくらしや産業には、どのようなくふうがあるのだろうか。 2 学習問題について予想し、追究の柱を立てる。 ○ 土地の改良の歴史 ○ 農業 ○ 生活・観光	2
	調べる	3 追究の柱について、個人やグループで調べ、全体で話し合う。 (1)「土地の改良の歴史」について、資料を基に調べる。 (2) 地形条件を生かした「農業」の工夫について、資料を基に調べる。 (3) 地形条件を生かした「生活や観光」の工夫について、資料を基に調べる。	1 1 1
	まとめる・生かす	4 追究の柱ごとにまとめたことを基にして、中心概念について話し合う。また鹿児島県の特色のある地形条件をもつ地域について調べたことを発表し、話し合う。 特色のある地形条件をもつ地域に住む人々は、それぞれの地形条件を生活や産業に生かしている。	1 (本時)
	まとめる	○ 大単元の学習問題をまとめ、振り返る。	1

7 本 時 (6 / 6)

(1) 目 標

低い土地や高い土地等，特色のある地形条件をもつ地域は，それぞれの地形条件を生かしていることを各種資料からまとめるとともに，人々のくらしや産業との関わりについて思考・判断したことを適切に表現することができるようにする。

(2) 評価規準

低い土地や高い土地等，特色のある地形条件をもつ地域について，地形条件と人々のくらしや産業との関わりについて思考・判断したことを適切に表現している。 【思考・判断・表現】

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では，学習計画表を活用し既習内容について振り返ることで，本時のめあてにつなげることができるようにする。

「調べる」過程では，ペアやグループ等での対話活動を通して，自分では気付かなかった「社会的事象の見方・考え方」を働かせることで，自分の考えを広げたり深めたりしながら中心概念を獲得することができるようにする。また，鹿児島県の特色のある地形条件をもつ地域についてグループで調べたことを発表することで，獲得した中心概念を活用し，社会との関わりをより意識することができるようにする。

「まとめる・生かす」過程では，学び方や中心概念について振り返ることで，身に付けた知識や技能を今後の学習に生かすことができるようにする。

(4) 本時の展開 [] 子供の意識 ㊦資料 ○ 指導の手立て ※評価規準

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	5	1 これまでの学習を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。 特色のある地形条件をもつ地域に住む人々は，それぞれの地形条件を生活や産業にどのように生かしているだろう。	○ 学習計画表を基に振り返ることで，学習内容や学習方法について見通しをもつことができるようにする。 ㊦ 概念構想図
調べる	30	3 低い土地と高い土地の追究の柱で調べたことを基に，中心概念について話し合い，まとめる。 学習とつなぐ ・ 低い土地の豊かな水を，農業や観光等の産業に生かしていた。 ・ 高い土地の夏の涼しい気候を，様々な高原野菜の生産に生かしていた。 ・ 低い土地も高い土地も，地形条件を生活や産業に生かしていた。 4 鹿児島県の地形条件に特色のある地域について調べたことを発表し，話し合う。 他者とつなぐ 生活とつなぐ ・ 笠野原台地では，シラス台地を農業に生かしている。 ・ 桜島や霧島では，火山を観光に生かしている。	○ 追究の柱を調べて獲得した知識を，「位置，地形，土地利用，分布」に着目し，「総合する」ような追究の方法で学習することで，地形条件と関連付けて考えることができるようにする。 ※ 特色のある地形条件をもつ地域と人々のくらしや産業との関連について考えている。 (ノート・ワークシート) 【思考・判断・表現】 ○ 鹿児島県の地形条件に特色のある地域について，これまでの学習と関連付けて考えることで，社会との関わりを意識することができるようにする。 ㊦ 鹿児島県の土地利用図
まとめる・生かす	10	5 本時の学習についてまとめる。 特色のある地形条件をもつ地域では，それぞれの地形条件を生かした生活をしている。 6 次の見通しをもつ。 ・ 次の学習では，食料生産や米づくりのさかんな地域について学習するんだな。	○ 「学習問題」や「学び方(視点や方法)」について振り返ることで，次の学習につなぐことができるようにする。 自分とつなぐ